

## 中部地方の管更生現場紹介

### ■工法概要

ガラス繊維に常温硬化型エポキシ樹脂を含浸させたファイニング材を現場硬化させる部分補修工法。水中でも短時間で自然硬化する高性能樹脂を使用した供用中の施工が可能となるほか、E P S、エアーマールド、E P L、E P F、E P M、L S取付管からなる豊富なバリエーションで、小口径から大口径の部分補修、さらに取付管更生、人孔補修まで対応する。

### ■中部地方での主な施工事例

西部管線センター管内ほかト水本管(中大口径管)

部分補修工事

【発注者】名古屋市上下水道局

【施工年度】令和6年9月30日～7年2月27日

【工事場所】名古屋市中区西又兵衛町4丁目地内

始め12カ所

【取付管径】800～1500mm

【施工箇所】54カ所

【施工工法】エアーマールド工法

【工事・工法の所感】ト水本管の内部調査で判明した円周クラックや支管口の崩壊などの部分補修を目的に実施された当該工事では、調査時から水位などの大きな環境の変更はなく着実に施工を進めることができた。設計時には、1650mmまでの大口径管の補修を予定していたことから、受注者が施工可能な工法のうち大口径管への対応と管路供用中の施工が可能なエアーマールド工法が選定された。部分的な補修が必要な管路に対して、的確かつ円滑に修繕できた点を高く評価する。



施工後の管内



## 常温硬化で、完全止水。

本管、取付管、そして接合部。  
小口径φ100から大口径φ900以上の、あらゆる管きよに対応。



本管内部部分補修  
E P F 本管 φ150~600  
取付管 φ100~200



大口径本管取付管部分補修  
E P M 本管 φ800以上  
取付管 ~φ300



マンホールの本管接続部  
E P L φ150~300



取付管部分補修  
E P R - L S φ100~200

### E P R工法の特長

- 水中自然硬化
- 補修箇所をピンポイントで施工
- 硬化収縮が極めて小さい
- 事前の止水が不要
- 密着供用中の施工が可能
- 臭気問題が発生しない(ノンスチレンで臭気なし)

**E P R工法協会**

愛知県支店  
〒461-0051 名古屋市中区利根町1-3-5 (金山橋内)  
TEL: 052-571-8977

会員登録中

建設現場工法・株式会社山崎 沼津管工事業部 総務部 桑名・四日市・津市 各支店 名古屋工場 岐阜工場 大田工場 小樽工場

【現場詳細資料】

既設管径：φ900mm

採用工法：EPR工法（エアーモールド）



【 施工前 】



【 施工中 】



【 施工後 】